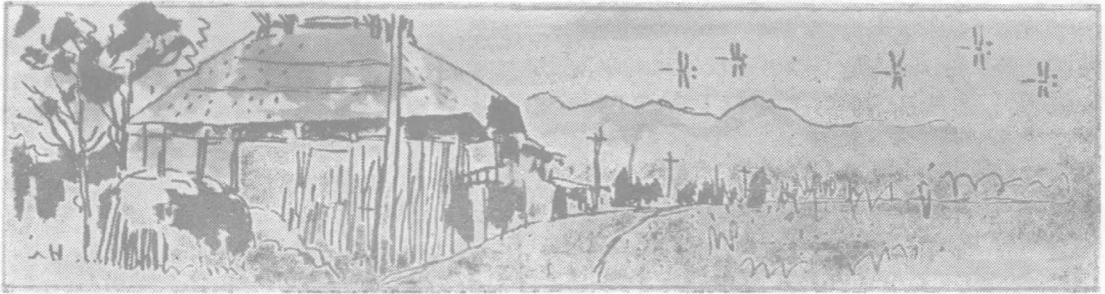


9月



会報

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

秋風

第167回例会

1962.9.25(火)晴

白藜社会員

工藤英捷氏絵

例会場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)
事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

○出席報告

本日の出席数 $\frac{39}{44}$ 名 欠席者
大野君、石井君、今間君
岡崎君、板垣君
出席率 88.64%

前回の修正出席数 5名
修正出席率 93.18%
武田君(東京西北R.C.)
手塚君(東京北R.C.)
大野君(村山R.C.)
海東君(盛岡R.C.)
鷺田君(東京R.C.)

○司会 佐藤会長

○ソング 我等の生業 リーダー 広瀬君

○ゲスト Dr. Kler御夫妻 吉弘ベアサ

○ビジター 高野君(酒田)
柴田君(ク)
荒井君(ク)
森川君(ク)
佐藤勤君(ク)
佐藤吉君(ク)

会長の挨拶

Dr. and Mrs. Kler:を例会に迎えての挨拶

Dr. and Mrs. Kler:ようこそお出で下さいました。私達全会員はその家族をふくめて一日千秋の思いで御来訪をお待ちしておりました。楽しい御旅行中にさして見る程の所のないこの東北の当市までわざわざお運びになられた事は私達ロータリアンと歓談すること、田中力君

の御家族をおなぐさめなさる真情からだと拝承して全く感激の外ありません。又さきには貴重な医学上の文献を多数御送り下さいまして改めて厚くお礼申し上げます。

友あり遠方より来る又楽しからじやとの古語の通り私達は前々からお待ちしております。

君子の交りは淡きこと水の如しと考え兎に角心から歓迎仕様といろいろと相談して一つの Plan を立てて見ましたが結局夜行でお出でになられた御客様に早朝から終日ぎつしりの Plan です、内心却て御迷惑かと心配していたのですが、快よくお受けになつたばかりでなく御希望の追加まであつたのです。お疲れでは御座いませぬかとおきましますとアメリカにおかえりになつてから五日間もぐつすり眠むるから大丈夫だと少しもお疲れの御様子をお見せにならないのです。但し之れはおく様のお言葉でした。このようにして何処に御案内しても大変お喜びになり、全く好意と友情に満ち満ちたものであつたばかりでなく、この地方の人情風俗と事業等の真想を知ろうとするその御熱心さと精力的なには心打たれました私はあの模様を詳細に諸君に御報告申し上げたいのですがその時間がないばかりでなく私のあれは会報委員を連れて記録するか録音でもとるべきであつたこれは私のミスですからスマイルさせていただきます。唯今年の尤も大きな記念事業の一つになつたとだけは申し上げ得るのみです。

さて Dr. Kler 氏が姉妹クラブのロータリアンでありますので、貴クラブの全員に対して呉れ呉れも宜しくとの御伝言を心からお願いすると同時にこの鶴岡ロータリークラブの現況を形式的でなく寧ろ内容的に管結ではあるが申し上げる責任を感じます。

1962 9.25

当クラブは先輩の御努力と多くの方々の御協力によって、国際ロータリークラブに正式に加入を認められる光栄に浴しておりますが何分にも誕生以来未だ日が浅いので内容的には未だ未だ幼稚であるから之れから大いに勉強して一日も早く一人前のロータリークラブに成長したいとは存じています。だが道は甚だ遠しと考えているのがいつもの現情であります。

去る8月26日第352区ガバナー手島周太郎氏の公式訪問の際のアツセムブリーにおいては優の好評を受けましたが、随分甘い点数だと思ひます。之れは貴市との姉妹都市であり貴クラブとの姉妹クラブであるという多に例の少ない異色な点があつたということ、同日役員並びに各委員長外多くの会員が出席して今年度の活動計画を熱心に発言されたゆゑであつたと思われまふ。大体がクラブ活動というものゝ教育を未だ充分には受けていないし従つて訓練といふまじょうか慣れてもいませんので大人並みに成長するには未だ未だ幾つかの段階と時日を要することゝ思つております。

然し日本には「急ぐべからず」という有名な人生訓がありますから急がないで然したゆまないで Dis cover Yourself先づ内部から固めて行く。Kindl The SPAr H-Within 全会員が努力することです。要はみんな全会員でやることです。従つて各委員長の進言は最大限に尊重して行く理事会は寧ろその調制的にまわろうとまで考へている様です、その結果が最善であるか次善であるかは二の次とするという方針です。勿論例外的には特別の実行委員を立てることはあり又会長役員が責任のがれをするというのではなく全会員から努力してもらふという刑を作りたいのです。みんながロータリーを知ることが肝心と心得ることです。然し之れは何といつても型であり形式にすぎません。この方針と形式に今一つロータリークラブの根本精神を打ち建てたいのです。それは茲に毎日示してあるこの「四つのテスト」を根本理念にしあらゆる言動は先づこの「四つテスト」に照らして見てからということをお忠実に勇敢に実行しようという方針を立てゝいるのです。

尤も困難なことは我々の言動が便宜主義でなく真実であるかどうかということです。然し急ぐべからずで一步一步内部から固めて行きます。このようにして行けば始めて友情と親睦が生まれ本当に愉快なロータリークラブになるのではないかと考へているので御座います。今日は例会ですから大先輩であるDr. Kler氏から甚だ失礼とは存じますがこの機会に私達のこの方針と根本方針を御批判と御指導を賜りたいのです。

お疲れのところ昨日以来本当にありがとう御座いました。姉妹クラブ弟のクラブは現在こんなことを考へてやつてゐることをお伝え下され御指導を賜りたいとお伝え下さい。

申し遅れましたが今後共御夫妻の愉快なそして御幸福

な御旅行を続けられんことを心から祈念してありまして御挨拶と致します。

Dr Kler 氏 挨拶要旨

本日は皆様とこの様にして親しくお会い出来て、非常にうれしい、また光栄である。先程貴クラブ会長の佐藤さんは、吾々の鶴岡へ来てからの言動の全部を会報委員に記録させるべきだつたと言われましたが、吾々こそ、皆様の親切な友情深い言動の全部を録音にしてアメリカへ持ちかえりたい気持で一杯である。

今こゝで、ニューブランズウィック R・C の新しいバナーを貴クラブに贈呈し、今後の長い友情を持続させてゆきたい。(こゝで、佐藤会長と Kler 氏のバナーの交換が行われた——万場拍手)

更に、こゝで私達夫妻から貴クラブに対して贈物を差上げたい。この飾り皿は1800年代の鶴岡市からの留学生高木氏の学んだ大学を絵にしたものであります。(こゝでも万場拍手の内に Kler 氏より佐藤会長に対し「飾り皿」の贈呈が行われた。)

さて、昨年ミドリオリニ夫妻が鶴岡より帰つて「鶴岡の人々は非常に友情深い」と言つて居られたが、実は私達が鶴岡へ来るまで、これ程友情深いとは考へて居りませんでした。私達夫妻は幸にも機会に恵まれて世界中を旅行して歩いて居りますが、御当地程に胸を開いて迎えて下さつたところはありません。どうか皆様、自分達は歴史が新しいとか、若くて未熟であるとか言う考えを捨てその若い力でロータリー活動が続けて下さい。

(次号につづかせていただきます。)

◎幹事報告

- 会報到着 ニューブランズウィック、東京、塩釜、新庄各 R・C
- 例会時間変更 秋田 R・C 9月26日 午後6時より

○ニコニコ箱

小花君 遅刻 吉弘ベアサさん 今日の感激
張君 遠方より友来り

◎本日の献立

鮭フライ
盛合せ ポークチャップ サンドキッチ、コーヒー牛乳
グラタン

※ 167号の観光案内は次号に掲載致します。

出席の補填に寄するテスト

- ① 所属クラブ例会に欠席した場合、その例会当日又はその前後□□日間に他クラブ例会に出席した場合、又他クラブ例会に定刻におもむいたが例会が臨時に変更されて出席の目的を達せられなかつた時は、当刻クラブ□□又は□□の証明を得れば出席を補填される。
- ② □□大会国際□□、地□大会、地□大会、地□協議会、ロータリー情報拡大□□会及び正式に発表された都市連合□□□□に出席した場合。